

ダイズの病害虫防除対策（6・7月）

1 各種病害虫

- (1) 各種病害虫は連作畑で発生が増加しやすいので、できるだけ連作は避けてください。できれば転作水田で栽培してください。
- (2) 紫斑病、黒根腐病、茎疫病、べと病などの病害は、多湿土壌で多発しやすいので、ほ場の排水対策を行ってください。

2 紫斑病

- (1) 種子は無病のものを選び、種子消毒して播種してください。罹病種子は発芽不良や生育不良になります。
- (2) 発生を予防するために種子消毒を行ってください（表1）。

表1 紫斑病の種子消毒薬剤

	薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用時期	使用方法	使用濃度、1kg 当たり使用量	使用回数 の制限※
種子消毒剤	ホームイ水和剤	チウラム	M3	は種前	種子粉衣	種子重量の 0.5%	1
		チオファネートメチル	B1				
	キヒゲンR-2フロアブル	チウラム	M3	は種前	塗抹処理	原液20ml	1
	クルーザーMAXX	チアメトキサム	4A	は種前	塗抹処理	原液8ml	1
		フルジオキシニル	E2				
		メタラキシルM	A1				

※使用回数の制限の欄は、その剤の使用回数であり、使用する際には成分ごとの総使用回数を確認すること。

- ・チウラムを含む農薬の総使用回数：1回以内
- ・チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数：4回以内（但し種子への処理は1回以内）
- ・チアメトキサムを含む農薬の総使用回数：3回以内（但しは種前の塗抹処理は1回以内、は種後は2回以内）
- ・フルジオキシニルを含む農薬の総使用回数：1回以内
- ・メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数：4回以内（但し種子粉衣及びは種前の塗抹処理は合計1回以内、は種後は3回以内）

3 黒根腐病

- (1) 播種後1か月頃から地際部に褐変が認められ、成熟期に先立って葉が黄化し枯死します。
- (2) 種子にクルーザーMAXXを乾燥種子1kg当たり原液8mlを塗抹処理してください。

4 茎疫病

- (1) 発芽間もない幼苗期から成熟期近くまで地際部近くに病斑を生じ倒伏枯死します。
- (2) 種子にクルーザーMAXXを乾燥種子1kg当たり原液8mlを塗抹処理してください。

5 べと病

- (1) 本病は降雨の多い6～7月と9月に多発し、葉に黄白色の不整形病斑が発生を作り、葉裏に淡灰色の綿毛状の菌叢ができます。発生が多いと生育抑制や落葉が見られます。
- (2) 罹病しやすい品種では生育初期から発生が見られるので、密植や過繁茂で通気性が悪くなって湿度が高くなるように注意してください。
- (3) 薬剤防除は発生初期から7～10日おきに数回実施しましょう（表2）。

表2 ペト病の防除薬剤

薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用時期 (収穫前日数)	使用濃度	使用回数の制限※
アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	C 3	収穫7日前まで	2,000倍	2回以内
フェスティバルM水和剤	ジメトモルフ	H 5	収穫45日前まで	750倍	3回以内
	マンゼブ	M03			
ライメイフロアブル	アミスルブロム	C 4	収穫7日前まで	2,000倍	3回以内
ランマンフロアブル	シアゾファミド	C 4	収穫7日前まで	1,000～2,000倍	3回以内
リドミルゴールドMZ	マンゼブ	M03	収穫45日前まで	500倍	3回以内
	メタラキシルM	A 1			

※使用回数の制限の欄は、その剤の使用回数であり、使用する際には成分ごとの総使用回数を確認すること。

- ・アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数：2回以内
- ・ジメトモルフを含む農薬の総使用回数：3回以内
- ・マンゼブを含む農薬の総使用回数：3回以内
- ・アミスルブロムを含む農薬の総使用回数：4回以内（但し、種子への処理は1回以内、散布は3回以内）
- ・シアゾファミドを含む農薬の総使用回数：4回以内（但し、種子への処理は1回以内、散布は3回以内）
- ・メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数：4回以内（但し、種子粉衣及びは種前の塗抹処理は合計1回以内、は種後は3回以内）

6 ウイルス病（褐斑粒）

- （1）種子は褐斑粒でないものを使用してください。
- （2）アブラムシ類の防除を行ってください。
- （3）生育中にモザイク症状や萎縮症状を確認したら早期に抜き取ってください。

7 タネバエ

- （1）種子が食害され発芽しない、または発芽しても子葉が食害されたり胚軸が食害されたりします。
- （2）魚粕、鶏糞などの有機質肥料を施用するとタネバエの発生が多くなることがあります。
- （3）種子消毒した種子を使用してください（表3）。
- （4）発生が多いほ場では、作付前や作付中に薬剤散布を行ってください（表4）。

表3 タネバエの種子消毒薬剤

	薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用時期	使用方法	1kg当たり 使用量	使用回数 の制限※
種子 消毒 剤	クルーザーFS30	チアメトキサム	4 A	は種前	塗抹処理	原液6ml	1
	クルーザーMAXX	チアメトキサム	4 A	は種前	塗抹処理	原液8ml	1
		フルジオキシソニル	E 2				
		メタラキシルM	A 1				

※使用回数の制限の欄は、その剤の使用回数であり、使用する際には成分ごとの総使用回数を確認すること。

- ・チアメトキサムを含む農薬の総使用回数：3回以内（但しは種前の塗抹処理は1回以内、は種後は2回以内）
- ・フルジオキシソニルを含む農薬の総使用回数：1回以内
- ・メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数：4回以内（但し種子粉衣及びは種前の塗抹処理は合計1回以内、は種後は3回以内）

表4 タネバエの防除薬剤

薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用時期	使用方法	10a当たり 使用量	使用回数 の制限※
ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン	1 B	収穫30 日前	作付前:前面土壌混和又は作 条土壌混和、作物生育中:作 条処理して軽く覆土	4～6kg	5

※使用回数の制限の欄は、その剤の使用回数であり、使用する際には成分ごとの総使用回数を確認すること。

- ・ダイアジノンを含む農薬の総使用回数：6回以内（但し種子粉衣は1回以内、粒剤は5回以内（生育期の処理は4回以内））

8 アブラムシ類

- ジャガイモヒゲナガアブラムシはダイズわい化病ウイルスを媒介することがあります。ダイズアブラムシやマメアブラムシでは多発すると葉に黄色の吸汁痕が多くみられ、葉の萎縮などが発生します。
- 発生を予防するため表3の種子消毒剤で塗抹処理した種子を使用してください。
- わい化病が発生したことがあるほ場では、有翅虫飛来初期から薬剤防除を行ってください。それ以外では葉に黄色の吸汁痕が見られ場合は防除を行ってください(表5)。

表5 アブラムシ類の防除薬剤

	薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用時期 (収穫前日数)	使用濃度、10a当たり 使用量(散布液量)	使用回数の 制限※
散布剤	エルサン乳剤	PAP	1 B	収穫7日前まで	1,000~2,000倍	2回以内
	オルトラン水和剤	アセフェート	1 B	収穫60日前まで	1,000倍	3回以内
	ダントツフロアブル	クロチアニジン	4 A	収穫7日前まで	2,500~5,000倍	3回以内
	マラソン乳剤	マラソン	1 B	収穫7日前まで	2,000倍	3回以内
無人航空 機散布	オルトラン水和剤	アセフェート	1 B	収穫60日前まで	16倍(1.6L)	3回以内

※使用回数の制限の欄は、その剤の使用回数であり、使用する際には成分ごとの総使用回数を確認すること。

- ・PAPを含む農薬の総使用回数：2回以内
- ・アセフェートを含む農薬の総使用回数：3回以内
- ・クロチアニジンを含む農薬の総使用回数：4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
- ・マラソンを含む農薬の総使用回数：3回以内

9 ツメクサガ

- 6月後半と8月後半に幼虫が出現します。6月後半の被害は本種によるものが多く、被害は突発的に発生することが多いです。第2世代は葉のほかに莢や種子を大きくえぐったように食害します。
- 第1世代幼虫の食害が目立ってきたら防除してください。虫齢が進むと加害が急激に多くなるので防除時期が遅れないようにしてください(表6)。

表6 ツメクサガの防除薬剤

薬剤名	有効成分名	薬剤系統	使用時期 (収穫前日数)	使用濃度	使用回数 の制限※
エルサン乳剤	PAP	1 B	収穫7日前まで	1,000倍	2回以内

※使用回数の制限の欄は、その剤の使用回数であり、使用する際には成分ごとの総使用回数を確認すること。

- ・PAPを含む農薬の総使用回数：2回以内

10 フタスジヒメハムシ

- 越冬成虫は5~6月に出現し、初生葉をえぐるように食害します。幼虫は土中で根粒を食害しますが、生育への影響は少ないです。8~9月に新成虫が出現し莢を食害するため、ダイズの品質に影響します。
- 越冬成虫の発生を予防するため表3の種子消毒剤で塗抹処理した種子を使用してください。

※農薬の登録内容については慎重に校閲していますが、登録内容の変更は随時行われています。また、同じ農薬名でも農薬会社によって登録内容が異なることがあります。農薬登録情報提供システムホームページ (<https://pesticide.maff.go.jp/>) 等で最新の登録内容を確認してください(記載中の登録内容は令和4年6月1日現在)。
液剤、水和剤、フロアブル剤、乳剤の生育中の10a当たり散布液量は150~300Lとする。